

本校の児童の育成を地域の力によってより充実させ、とくに特色ある教育活動を推進する学校運営を支援する。



| 学校 | 学校運営協議会 | 地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数) | 地域学校協働本部 |
|-----------------|--------------------------------|---------------------------------------|--------------|
| 横浜市立 いずみ野小学校 | いずみ野小学校学校運営協議会 平成22年1月4日 指定 | 地域学校協働活動推進員 6名 3名 地域コーディネーター 6名 3名 | いずみ野小学校運営委員会 |



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

創立以来、様々なボランティアグループが学校支援活動に関わり、近年はPSY(パイオニアスクールよこはま)としての3年間を経て、独自のPSI(パイオニアスクールいずみ野)活動を進めてきた経緯がある。これまでの活動を土台として、それぞれの活動をつなぐと共に、今後の長く続く持続可能な活動に向け、令和3年にMSI(Multi Support IZUMINO)が発足した。MSIは、児童の健全な成長に寄与することを目的として、地域学校協働活動推進員が中心に新たに発足したものである。

目標や目指す姿(学校)

自分が好き、友だちが好き、学校が好き、このまちが好き
心豊かに学び合い、ともにより良く生きようとする子

目標や目指す姿(地域)

まちとともに歩む学校、まちとともに子どもを育む学校



いずみ野小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 保護者・PTA関係者 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 放課後児童クラブ関係者 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 自治会関係者 | など、計 12 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 企業関係者 | 年間平均 5 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

積極的に子どもの育成に関わろうとする創立以来の地域の学校に対する思いや願いがある。学校運営について長きにわたって学校とつながる地域住民の参画を得ることで、児童に関する情報の共有や地域住民の意欲に基づく教育活動への支援を円滑に行うことができている。一方、学校の特色である農業生産活動においては、学校からの様々な依頼を学校運営協議会での理解が深いため、活動がより充実してきている。大いに信頼を得ている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

生産活動は指導者の高齢化や農家の後継者不足、教職員の働き方についての課題がある。学校運営協議会では持続可能な活動や負担軽減という思いで話し合いが行われ、地域学校協働活動組織(MSI)の再構築を図ることができた。現在も地域住民の支援を得て、米作りやさつまいも作りが継続できている。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

独自の生産活動として地元農家の方より本物の田んぼや畑を借用し、米作りやさつまいも栽培を行っている。地域学校協働活動推進員が学校と地域を結び、多くの地域住民の支援を得て、児童・教職員が日頃できない田んぼの水管理や畑の管理に協力していただいている。



「田植え」の様子

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

・朝会でMSIのメンバーを子どもたちに紹介したり、12月は生産活動の発表の場として収穫祭を行ったりして、支援していただいている地域の方や保護者に感謝の気持ちと学習の成果を発表し、生産活動への理解を得ている。・年2回、MSI総会を開催し、メンバーと教職員で活動計画の確認や振り返りを行い、よりよい活動となるよう共通理解を図っている。・MSIの体制が整ったことにより、サポートの支援要請や活動の連携については、依頼状況を7名のコーディネーターが常に把握し、ウェブを活用して迅速に連絡が行き渡り、情報共有の仕組みが簡潔に機能している。

取組

成果・効果

学習ボランティアに関しては、子どもの学びの意欲が増し、成果が十分に見られた。担任との連携を図って活動できたことはとてもよかった。生産活動については、田植え、稲刈り、脱穀などMSIの支援により、安心して活動に参加することができ、地域を愛する子どもが育っている。多くの大人が、子どもたちの幸せを願い、温かい気持ちでコミュニケーションをとることで子どもたちが落ち着いて学習し、学校生活を楽しむことができています。全職員がいずれかのグループに関わっているので、地域とのつながりを深めやすくなった。教職員の異動があっても、分かりやすい組織が構築されているため、持続可能な活動となってきている。

○「地域の方やボランティアの方々のおかげで活動が進んでいる。やっぱり、自分たちは周りの人から支えられているんだと改めて実感しました。なので感謝の気持ちを伝えることができました。」(6年児童)

○「私たちは、子どもたちの幸せのためにこの活動に参加させていただいています。子どもたちの笑顔が増えてくれると嬉しいです。」(地域の方)

○「横浜というまちで、このような大きな規模で田んぼや畑で土をさわる活動はとても貴重でだと思います。できる範囲でお手伝いをして、子どもと一緒に楽しんでいます。」(保護者)

○「初めはボランティアの方々にかかわっていったらいいのか不安なところもありましたが、いずみ野小の良いところは何？と子どもたちに尋ねると、「地域の人がたくさんかかわってくれているところ」「みんなが感謝の気持ちをもっていること」と言う声が、必ずあがってきています。地域あつてのいずみ野小、本当に支えていただき、助かっています。」(教員)